



平成28年2月29日

国土技術政策総合研究所

## スエズ運河世界会議にて、国土技術政策総合研究所の柴崎国際業務研究室長が「世界規模の海運輸送における航路選択」について講演

今後の世界規模の海運輸送における大きな環境の変化の一つである、スエズ運河の複線化部分の開通が2015年8月に行われたことをうけて、スエズ運河世界会議（Suez Canal Global Conference 2016年2月22-24日 於エジプト・カイロ）が、エジプト・スエズ運河庁が主催して行われました。国土交通省国土技術政策総合研究所（国総研）の柴崎隆一・国際業務研究室長は、スエズ運河庁からの依頼に応じて当会議に出席し、『世界規模の海運輸送における航路選択\*』について講演をいたしました。

当会議は、スエズ運河の複線化部分の開通をうけて、スエズ運河の今後の課題や活用のあり方、スエズ運河周辺の開発情報の共有等を目的としてスエズ運河庁が主催しておこなわれたものです。

エジプト政府からは、イスマイル首相のほか、メメーシュスエズ運河庁長官、エルグユーシ運輸大臣、サルマーン投資大臣等政府要人が参加したことに加え、ヒンチリフェ I S C 事務局長（The International Chamber of Shipping）等、世界各国の海運やエネルギー等に関わる要人・専門家が多数参加して行われました。

柴崎室長は国総研において、世界規模の海運の航路動向に関する様々な研究を行っており、世界規模の海運の定量的な分析・モデル化を行う専門家として講演を依頼され、会議2日目の23日に講演を行いました。

また会議の一環として、スエズ運河の視察も行われ、イスマイル首相やメメーシュスエズ運河庁長官等列席のもとで行われたポートサイド東港周辺航路の浚渫工事完成記念式典にも他の講演者と伴に同席しました。

国総研としては、今後も、世界の海運動向の分析・研究を進めることで、我が国の港湾や海運政策を下支えする研究を進めることに加えて、積極的な国際協力への貢献、また、世界規模の海運における重要国際インフラであるスエズ運河と日本との良好かつ持続的な関係の維持・構築に技術的側面から貢献していく所存です。

### 【問い合わせ先】

国土技術政策総合研究所 管理調整部 企画調整課 中村、赤城  
国際業務研究室 柴崎

〒239-0826 神奈川県横須賀市長瀬3丁目1番1号

TEL:(代表)046-844-5019 / FAX:046-842-9265



【国際会議にて講演する柴崎室長】



【国際会議出席者の様子】



【浚渫工事完成記念式典】



【催行されたスエズ運河視察】

\* 世界規模の海運輸送における航路選択とモデル化（原題：Route Choice of International Vessels on a Global Scale and Its Modelling）：世界規模の国際海運に関する様々なデータベースに基づき、スエズ運河やスエズ運河と競合するパナマ運河、喜望峰航路など主要航路におけるコンテナ船やバルク船等のシェア分析結果や、様々な要因を考慮して構築した航路選択モデルを用いて行った、パナマ運河拡張や燃料費の減少等の影響予測の結果を紹介するもの。